

令和3年12月24日  
沖縄県保健医療部衛生薬務課

キャンプ・ハンセンへの立入申請について（お知らせ）

キャンプハンセンに隣接する金武町の浄水場の原水及び浄水（水道水）から水質管理目標設定項目の暫定目標値を超える PFOS 等（PFOS 及び PFOA）が検出されたことから、原因究明のため、沖縄防衛局を通じ、米国太平洋海兵隊基地政務外交部 G7 部長あて立入申請書を提出しましたので、お知らせ致します。

○立入の目的

沖縄県内の米軍基地周辺における高濃度の有機フッ素化合物（以下、「PFOS 等」という。）による水質汚染に関する報道を受けて、令和2年6月に金武町において、水質検査を実施しています。

水質検査の結果、金武浄水場及び並里浄水場の水源である複数の井戸から PFOS 等が検出されており、また、金武浄水場及び並里浄水場の水道水から暫定目標値を超える PFOS 等が検出されたため、金武町は令和2年7月から井戸からの取水を停止している状況となっています。

検出された場所はいずれもキャンプ・ハンセン周辺であることから、地域住民に供される水道水の安全性について懸念や不安が広がっています。

これらを踏まえ、キャンプ・ハンセン周辺の PFOS 等の検出原因について早急に調査し、対策を検討する必要があります。キャンプ・ハンセン内での採水及び土壌採取のための立ち入りを行う必要があります。

○立入者

県庁職員及び金武町役場職員（計 20 名）

○立入申請を行った日

令和3年12月24日（金）

○調査予定箇所

キャンプ・ハンセン内 8 カ所で採水（4 カ所）及び土壌（4 カ所）の採取を行う予定。

○今後の県の対応

県は、引き続き、金武町と緊密に連携し、速やかな立ち入り調査の実施に向けて取り組んでまいります。